

英語学習アドバイザー 資格認定制度

English Study Advisors' Certificate (ESAC)

目次

- P02 英語学習アドバイザー資格認定制度とは？
- P03 資格取得までの流れ
- P04 制度概要



英語学習アドバイザー資格認定制度とは？

English Study Advisors' Certificate (ESAC)

世界のいっそうのグローバル化を背景に、日本でも英語学習者が飛躍的に増大しています。書籍・英会話スクール・通信講座・Eラーニングといった教材も、学校教育・成人教育・企業内研修といった学習の場も、ますます多様化しています。こうした複雑な環境のなか、学習者が効率的・効果的に学べるよう的確なアドバイスを行う、いわば「英語学習アドバイスのプロ」を求める声が高まっています。

このようなニーズに応え、さらには「英語が使える日本人」の育成を目指して、適切・的確な英語アドバイスと学習者に応じたカウンセリング・メンタリングができる、プロの英語学習アドバイザーを養成・認定する制度として発足したのが、**英語学習アドバイザー資格認定制度**です。

資格は、英語力およびアドバイス力などにより、ジュニアからマスターまでの4段階で認定されます。資格認定者は、大学等の教育機関や英語学校、留学相談機関、大学等の学習サポート機関・就職課、企業人事部など、社会のあらゆる場面で活躍が期待されています。

資格の種類

レベル	説明	定義	資格の取得	
ジュニア	英語学習アドバイザーに関する基礎知識を備えている。	英語学習アドバイザーに関する教材（書籍、DVD）で学習している。大学生協、書店等で英語教材の説明・販売をする際、学習した知識を生かすことができる。	申請資格	・ 指定教材の学習（TOEIC600点以上取得推奨）
			審査方法	・ 課題提出
			更新手続	・ 特になし
アソシエイト	自分の英語学習経験を踏まえ、適切なアドバイスが行える。	自分の学習体験を例に、適切な学習アドバイスが行える。英語学習アドバイスが主たる業務である場合の他、大学生協、書店等での英語教材販売員など英語学習周辺の仕事にも活躍の場が広がる。	申請資格	・ ジュニア資格を取得、指定ワークショップ修了 ・ TSST* / SST** レベル6以上
			審査方法	・ 出願書類
			更新手続	4年に1度
プロフェッショナル	プロの学習アドバイザーとして、即戦力として活躍できる。	高校や大学・語学学校・英会話スクール・留学相談機関などにおいて、対面授業・書籍・通信教育・Eラーニング等多様な手段・教材で学ぶ学習者のアドバイザーとして、活躍の道がさらに広がる。	申請資格	・ ジュニア資格を取得、指定ワークショップ修了 ・ TSST* / SST** 7以上 ・ 英語学習アドバイス経験があること
			審査方法	・ 英文エッセー課題 ・ アドバイス実践レポート課題 ・ 出願書類
			更新手続	4年に1度
マスター	新たな学習アドバイザーの育成ができる。	英語力、指導力、社会経験の面で、英語学習アドバイザーとして最高の資格。一般学習者へのアドバイスはもとより、他の学習アドバイザーのアドバイザーとして、後進の育成を行う能力・知識・技能を備えていることや、複数の資格者をマネジメントする能力などが求められる。たとえば、セミナーで講師を担当したり、大きな英会話スクールや団体などのマネジャーとして複数のアドバイザーの指導に当たる。	申請資格	・ TSST* / SST** 8以上（ただし1年以内のスコア） TOEIC900点以上（ただし2年以内のスコア） ・ プロフェッショナル資格者として3年相当の英語学習アドバイス経験
			審査方法	・ 特別講義受講 ・ 実技テスト ・ 筆記テスト
			更新手続	4年に1度

注：資格制度や内容は変更される場合があります。

* TSST: アルクが開発した電話によるSST (Telephone Standard Speaking Test) です。

**SST (Standard Speaking Test) : ACTFL (全米外国語教育協会) と株式会社アルクが共同開発した英語スピーキング力測定テストです。

[TSST / SST の詳細は、<http://tsst.alc.co.jp/> にてご確認ください。]

資格取得までの流れ

「ESAC認定 英語学習アドバイザー養成講座」(書籍&DVD)で自学自習

DVD視聴レポート1本、指定図書の学習レポート1本を提出(提出先:ESAC事務局)
TOEIC600点以上相当の英語能力を持っていることが望ましい

と がセットで受講可能な講座として、「英語学習アドバイザー養成プログラム」も
あります。講座内容や修了に必要な課題は同じです。

ジュニア・アドバイザー資格取得

「ESAC認定 英語学習アドバイザー実践ワークショップ」に参加

開催は、夏/冬の年2回を予定。ワークショップの修了には以下A・Bの両方が必要です。
なお、ワークショップ参加の際は英語力・経験とも問われません。ジュニア・アドバイザー資格取得予定の
方も参加可能です。

- A: 1日約6時間分のワークショップ参加(アドバイスの実践練習)
- B: 課題提出(書面によるアドバイス1本、課題図書レポート2本)

「英語学習アドバイザー実践ワークショップ」修了証発行

< 以後の資格申請には、下記3つが必要です >

1. ジュニア・アドバイザー資格証明書
2. 「英語学習アドバイザー実践ワークショップ」修了証
3. TSST/SSTのレベル証明

アソシエイト・アドバイザー資格を取りたい

ESAC事務局へ願書提出(TSST6以上)
(年2回、3月~4月と9月~10月に出席期間を設定)

結果送付

プロフェッショナル・アドバイザー資格を取りたい

ESAC事務局へ願書提出(TSST7以上)
(年2回、3月~4月と9月~10月に出席期間を設定)

指定課題に取り組み
(アドバイス実践レポート2人分+英文エッセー)

審査*

*プロフェッショナル認定基準に満たない場合、
アソシエイトに認定される場合があります。

各種諸費用について(すべて税込)

- ・教材「英語学習アドバイザー養成講座」:44,800円
- ・「英語学習アドバイザー実践ワークショップ」:32,000円
(この他、課題図書を各自ご用意頂きます)
- ・TSST受験料:7,350円
- ・プロフェッショナル資格出願申請料:25,000円

結果送付

マスター 資格への出願は、
2008年以降に年1回の受付期間を設ける予定です

TSSTについては <http://tsst.alc.co.jp/> でご確認ください。
再受講・再審査等の場合、ESAC事務局までお問い合わせください。
本紙記載の研修講座受講料・各種申請料等は、2008年5月現在のものです。

認定カリキュラムの主な内容

1) 英語学習アドバイスの目的と意義
・ 英語学習アドバイザー資格制度について知る ・ 英語学習アドバイスの意義と基本姿勢 ・ 英語学習アドバイザーの役割
2) 言語習得の理解
・ 言語習得のプロセス、メカニズム ・ EFL(English as a Foreign Language)について
3) 英語教育の基礎知識
・ 日本の英語教育の現状 「英語が使える日本人育成戦略構想」など ・ 英語教授法 ・ 評価テスト
4) 学習アドバイスの基礎知識
・ 教育原理 ・ アドバイス方法の基本知識 メンタリング/コーチング/ティーチング/カウンセリング

5) 学習アドバイスの具体的なスキル
・ 学習者を知る 学習目的を知る 悩み・弱点・つまづきの原因を知る 学習者との信頼関係構築 / 到達目標の設定 ・ 学習プランの立て方 ・ 学習プランにそった支援・アドバイスのポイント ・ 英語力レベル別アドバイス方法 ・ 技能別アドバイス方法 リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング、 ディベート、プレゼンテーション、ネゴシエーション、翻訳、通訳
6) 学習アドバイスの実践
・ 学習アドバイスの実習体験ワークショップ 模擬カウンセリングなど

制度概要

【制度の正式名称】

日本名: 英語学習アドバイザー資格認定制度
英語名: English Study Advisors' Certificate
略称: ESAC (イーザック)

【制度の定義】

1. プロの英語学習アドバイザー資格の定義
2. プロの英語学習アドバイザー資格の認定
3. プロの英語学習アドバイザーの育成・養成

【資格付与機関】

ESAC 認定協議会

事務局: ESAC事務局

事務局をアルク内(教育システム事業部)に設置
事務局長: 平野琢也 教育システム事業部長

認定委員会: ESACボード

委員長: 吉田研作

(上智大学外国語学部教授、J-SHINE[®]認定委員長)

委員: 金子朝子 (昭和女子大学教授)

委員: 関 昭典 (東京経済大学准教授)

委員: 田口 純 (筑紫女学園大学教授)

委員: 藤田 保 (立教大学教授)

委員: 松原勝子 (中部大学准教授)

(50音順)

< ESACボードの機能 >

1. プロの英語学習アドバイザー資格の定義
2. 共通カリキュラムの策定
3. 資格の認定 / 団体の認定
4. 有資格者の育成・養成への助言

* 小学校英語指導者認定協議会
(略称J-SHINE)

「小学校での英語教育の普及・発展を支援する」ために、特定非営利活動法人(NPO)として設立された、英語教育指導者の資格認定を行う団体です。

お問い合わせ先

- * ESAC認定 英語学習アドバイザー資格および資格制度について
株式会社アルク内・ESAC 事務局 esac@alc.co.jp
- * 「ESAC認定 英語学習アドバイザー実践ワークショップ」について
株式会社アルク <http://www.alc.co.jp/event/esac/>
- * TSST / SST について
株式会社アルク <http://www.alc.co.jp/edusys>

英語スピーキングテスト T-SSTのご案内

T-SST
Telephone Standard Speaking Test

電話による、スピーキングテスト

T-SST (Telephone Standard Speaking Test) は、電話によるスピーキング(発話力)テストです。ACTFL(全米外国語教育協会)とアルクは、対面インタビュー形式でスピーキング能力を測定するテスト = SST (Standard Speaking Test) を共同開発しました。T-SSTは、このSSTを遠隔地においても受験可能にしたものです。T-SSTでは、日常的なことや仕事にまつわることを話題とした質問の膨大なデータベースからランダムに選択される10の質問に答えます。質問は日本語と英語で出題されますので、英語のリスニング力は問われません。

その時その場で何を言うかを考え、自分の知識を使って話を「創造する力」を総合的に評価します。テストは約15分程度、電話で24時間全国どこからでも受けられ、結果は受験したその月のうちにウェブ上で確認できます。

なお、T-SSTとSSTは同じ評価基準に基づいて評価します。同じ実力であればどちらを受けてもほぼ同じ結果が得られます。受験者のスピーキング力はレベル1からレベル9までの9段階でスコア表示され、各受験者のスピーキングの特徴に関するコメント、アドバイスが添えられますので、今後のレベルアップに具体的に役立てることが可能です。

1.
T-SSTの詳細については以下のサイトをご参照ください。「レベル概要」のページでは、レベルごとのサンプル音声が届きます。
<http://www.alc.co.jp/edusys/>

2.
ESACの資格申請時に、T-SST(またはSST)のスコアを提出が必須となっております。ESAC事務局では、遠隔地在住の方でも指定の期間内であれば24時間自宅受験可能なT-SSTの受験を推奨しております。

3.
SSTは対面インタビュー～試験官と対面式で行う約15分間の英語スピーキングテストです。試験官資格をもったインタビュアーが、受験者ひとりひとりに合わせたさまざまな質問を通してあなたのスピーキング力を十分に引き出します。特定の日時・場所において実施。結果は、受験後約3週間で郵送します。
SSTの詳細は、以下サイトをご参照下さい。
<http://www.alc.co.jp/edusys/sst/>

受験スケジュール・料金

実施期間: 毎日24時間(ただし受験期間の指定がございます。)

申込締切: 受験する週の前週

結果発表: 受験した週の翌々週半ばころ(専用ウェブサイトへアップ)

受験料: 7,350円(税込)

お問い合わせ・お申し込みはこちらへ

株式会社アルク カスタマーサービス部

Eメール: csss@alc.co.jp